

外国語科（英語）学習指導案

日 時 令和8年2月5日（木）

第5校時 13：30～14：20

学校名 杉並区立泉南中学校

対 象 第1学年A組標準クラス 16名

会 場 2階学習室

授業者 教諭 佐藤 毬百

1 単元名 Unit7 The New Year in Japan

(MITSUMURA TOSHIO 「Here We Go! English Course 1」)

2 単元の目標 冬休みの出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書くことができる。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①一般動詞や be 動詞の過去形の文の意味・形・使い方を理解している。 ②一般動詞や be 動詞の過去形の文の理解をもとに、過去の出来事や気持ちについて伝えあったり、たずねたり答えたりする技能を身に付けている。	①冬休みの出来事について、伝えたい情報を整理して、友達に話すことができる。 ②冬休みの様子をこれまで英語を教えてくれた先生に伝えるために、伝えたい情報を整理してはがきを書いている。	①冬休みの出来事について、伝えたい情報を整理して、友達に話そうとしている。 ②冬休みの様子をこれまで英語を教えてくれた先生に伝えるために、伝えたい情報を整理してはがきを書こうとしている。

4 単元設定の理由

本学年の生徒は、小学校入学当初より「書くこと」に関して高い苦手意識をもっている。そのことから、まずは基礎学力定着と4技能の向上を目指して、4月より「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」をローテーションで行う単元ごとラウンド方式に取り組んできた。また、単元末の目標として1学期、2学期は話すことをメインに、補助活動として話した内容を書き起こす活動に取り組んだ。それらを踏まえ、3学期は1年間のまとめとして、苦手意識を払拭した状態で「書くこと」に関する活動に取り組むことができると考え、本単元を設定した。

5 生徒の実態

標準クラスの生徒たちは、授業者の質問・発問に対して積極的に答える生徒が多く、意欲的にコミュニケーションにおいて活用できる技能を伸ばそうとしている。そのため4技能を偏りなく指導してきた。「書くこと」を目標に設定した単元では、基準値を示し指導を行ってきた。否定文を活用した作文を指導した際、文章は書けているが全体的にスペリングミスが目立った。机間指導を多くし、文法的な間違いを含め相手に伝わりやすい表現力を身に付けさせたい。

6 単元の指導計画（全 11 時間扱い）

	目標	学習活動	人権教育に関わる留意点等
第 1 時	一般動詞(過去形)の肯定文の意味・形・使い方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新出文法導入 ・口頭練習 ・週末の出来事についてペアで会話する。 	教師との対話を通して、一般動詞の過去形における音や語形の違いへの気付きを促す。
第 2 時	一般動詞(過去形)の疑問文と否定文の意味・形・使い方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新出文法導入 ・口頭練習 ・週末にしたことについてペアで会話する。 	ペア活動等で疑問文と否定文を繰り返し活用練習させることで、実際のやり取りの中で形と意味の定着を図る。
第 3 時	be 動詞(過去形)の疑問文と否定文の意味・形・使い方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新出文法導入 ・口頭練習 ・週末にしたことについてペアで会話する。 	be 動詞の過去形について音声の特徴に着目させ、音からの気付きを通じて正確に活用できるようにする。
第 4 時	イラストから予想しながら、ストーリーのおおまかな内容をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーカードの並び替え 	オーラル・イントロダクションを用いてストーリーへの関心を持たせ、内容を自分事として捉えさせる。
第 5 時	文字と音を一致させながら、ストーリーのおおまかな内容をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・セリフの並び替え 	生徒の理解状況に応じて音声再生速度を段階的に調整し、聴解負荷を適切に管理する。
第 6 時	単語の意味と本文の内容の詳細を理解し、音読することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・音読活動 	音読において音の連結・リズム・イントネーションを意識させ、意味単位に即した音読を徹底する。
第 7 時	登場人物の気持ちを考えながら、登場人物になりきって音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・音読活動①（復習） ・音読活動② 	登場人物の心情に関する発問を通じて、感情を込めた抑揚や間の表現が可能となるよう音読指導を行う。
第 8 時	文や単語の意味を理解しながら、本文の内容を書き写すことでより内容の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・音読活動 ・本文書き写し 	書き写しをする際に、発音を同時並行で実施し、音と綴りの対応関係を意識させる。
第 9 時	本文の内容について、写真を見ながら自分の言葉で説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容について、自分の言葉で会話する。 	リテリングを実施する前にキーワードを共有し、自分の言葉によるリテリングが可能となるよう指導する。
第 10 時 (本時)	自分の冬休みの出来事や気持ちについて、友達に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みの出来事について、ペアやグループで伝え合う。 	ペア活動やグループ活動を通して、外国語で表現したり、伝え合ったりする力や実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を育成する。
第 11 時	自分の冬休みの出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みの出来事について、はがきを書く。 ・単元の振り返り 	はがき作成後、振り返りシートで過去形・語彙の気づきを言語化し、ライティングに活かす具体的な改善点を設定させる。

7 人権教育の視点

冬休みの出来事について表現する活動を通して、外国語で自分の言いたいことを表現したり、伝え合ったりするなど、コミュニケーションにおいて活用できる技能を育成する。

8 本時の展開（全 11 時間中の第 10 時間目）

(1) 本時の目標 自分の冬休みの出来事やその時の気持ちについて、友達に伝えることができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応例	・人権教育に関わる留意点等
導入 (10分)	<p>○前時の復習</p> <p>○教師とインタラクションしながら本文内容を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Happy New Year!」や「Toshikoshi soba」など、本文のセリフを思い出して言う。 <p>○ピクチャーカードを使って自分の言葉で説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Eri bought an omamori.」などピクチャーカードから分かることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・型を与えず、即興的に行う。 ・本文の内容を思い出させるために3つ程度質問する。 ・学習した英語表現を用いて、できるだけ詳細に説明するように促す。 ・相手に伝わったかどうか確認しながら伝えるように促す。
展開 (35分)	<p>○自分の冬休みの出来事や気持ちについて、ペアやグループで伝え合う。</p> <p>(1) 教師が冬休みの出来事について話し方を例示する。それを参考にしてペアでインタラクションする。その後、全体に共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「I went to Hokkaido.」 ・「I played soccer.」 <p>(2) インタラクションで伝えた内容をマッピングシートに書き出し、本当に伝えたかった情報を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書けない単語はカタカナでいいですか?」 <p>○マッピングシートを見ながら、自分の冬休みの出来事やその感想などをペアで伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッピングシートを見ながら、単語をつなげて冬休みの出来事を伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文で答えるように促す。 ・間違いを受け入れ、積極的に話しやすい雰囲気づくりをする。 ・ペア活動を通して、その後のグループ活動で発表する。 ・ペア活動の際に、後で見返せるように、動画を撮影させる。 ・相手が理解できるように、既習事項を使用するなど、工夫することを伝える。 ・分かりやすい伝え方をしていた生徒を教師が選び、指名する。 ・マッピングシートは文ではなく、キーワードで書かせる。 ・伝えようとする努力を「good job!」や「well done」などの英語表現を用いて称賛する。 ア-①一般動詞や be 動詞を用いて冬休みの出来事について3文以上で伝えることができる。(活動の観察) イ-①相手の発話に対して即興で質問したり答えたりできる。(活動の観察)

	<p>○マッピングシートを見ながら、自分の冬休みの出来事や感想などをグループで伝え合う。</p> <p>○2～3人程指名し、全体で発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ発表でメンバーの発表を聞くときに、メンバーの発表の良かったところをノートに記録させる。
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○本時の内容についてまとめる。</p> <p>○reflection sheet に本時の振り返りを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことや次回に向けた改善点だけでなく、「言いたかったけれど英語で言えなかった言葉」も記入させる。 ・本時のねらいとポイントについて説明し、生徒一人一人が振り返りがしやすいようにする。